

西成に「芸術大」

「釜ヶ崎芸術大学」
オープンに向け、
看板を作る植田裕
子さん(中央)ら
大阪西成区で

日雇い労働者が多く集まる大阪市西成区のあいりん地区に19日夜、「釜ヶ崎芸術大学」がオープンする。書家や天文学者らが講師となる公開講座で、誰でも無料で参加できる。芸術を通して日雇い労働者支援に取り組むNPO法人「ココルーム」(同区)が「年を取っても勉強したいという労働者の願いに応えたい」と企画した。

講座は書道、天文学、音楽、哲学など11のテーマがあり、書家で毎日書道展審査会員の畑中弄石さん(70)や尾久土正己・和歌山大学教授(天文学)ら専門家が人が講演・指導する。ニッカポッカなどの作業服を題材にしたユニークなファッション講座もある。1回約2時間で、来年2月までに計42講座を開く。

きょう開校 ニッカポッカなど題材、無料42講座



書道を指導する畑中さんは、「西成のおっちゃんらは生きるしんどさを知っているだけに、さまざまないを抱えているはずだ。気持ちのこもった書を楽しみにしている」と語る。

ココルームは、労働者らによる紙芝居公演の開催に協力したり、薬物依存や介護などの相談会を開いたりする活動を続けている。スタッフの植田裕子さん(27)は、病気や飲酒などで体調

を崩す労働者らに多く出会ったといい、「講座に参加して、生活リズムを立て直してもらおうきっかけになれば」と多くの参加を呼びかける。

会場は同区太子1の大阪市立大西成プラザ。初回の19日は午後7時からで、表現教育家の岩橋由莉さんによる「表現」の講座がある。問い合わせはココルーム(06・6636・1612)。

【山田尚弘、写真も】